

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

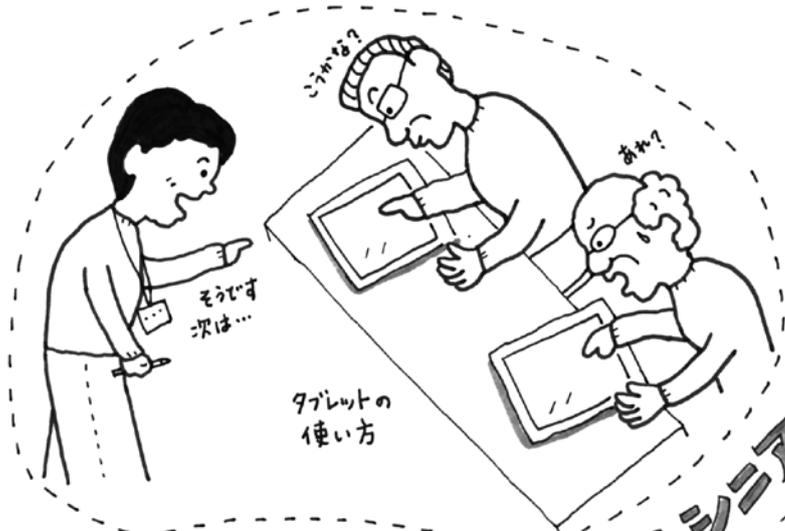
2017
vol.237
毎月1日発行

2月号

杜の伝言板

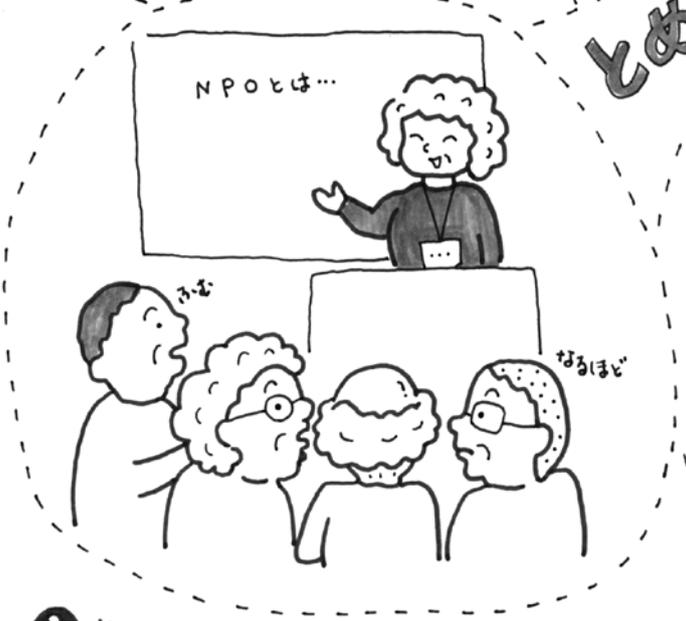
ゆるる

月刊



習得した知識や技術を公開する
"プロ講師体験"を目指して
さまざまなことに取り組んでいます。

シニアアカデミー



- アクティブ・シニアの力を活かす NPO法人とめ市民活動フォーラム
- 設立35周年を迎えたあかねグループ 学習と実践を両輪に 認定NPO法人あかねグループ
- 「ひとりじゃない」を感じられる場所 NPO法人子どもグリーフサポートステーション

みやぎNPOプラザからのお知らせ

プラザの常設ショップ・ギャラリー&貸事務室を活用して、新たな一歩を踏み出そう!

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



アクティブ・シニアの 力を活かす



NPO法人とめ市民活動フォーラム



リタイヤした後の男性シニアがキャリアを活かし、地域の活性化に踏み出して貰おうと、登米市で活動するNPO法人とめ市民活動フォーラムは、昨年の九月から主に五十歳以上の男性を対象にした「とめシニア・アカデミー」を開講しました。

どの地域でも女性のシニアは元気で、様々なイベントや講習会、交流会に多数参加していますが、第二の職場をリタイヤした後でも学びの場や地域での活動になかなか参加しない傾向があります。そこで、家の中に籠ってしまいがちな男性シニアをなんとか外に連れ出し、アクティブに地域の活動に参加して頂こうと、男性向けのプログラムを選択し、七カ月にわたる連続講座を開講しています。

●●● プログラムは五つ ●●●

多くのシニアが気になるのが「健康」。体力を保持しながら介護状態にならないよう介護予防の体操を習得する「ガンバルーン体操指導員養成講座」を始め、ちよつと憧れる「コーヒーマスター養成講座」、そしてタブレットの様々なアプリを活用した「ICT活用インストラクター講座」をメインに、習得後、受講者の中でグループを作って実践してもらうことを想定して組織運営に関わる「NPO運営基礎講座」、五つ目が増えている「認知症を知る初級講座」を入れて、五つの講座です。

九月一日の開校式には、受講生十六人が出席。早速、オリエンテーションをして、プログラムの目指すことやカリキュラムを共有しました。

●●● オリジナルブレンドコーヒー ●●●

期待度の高いコーヒーマスター養成講座は、仙台市青葉区中山で焙煎珈琲ショップを経営する「有限会社ネルソンコーヒー」の社長、里館薫さんを講師に迎え、コーヒー豆の生産国事情と日本国内状況、コーヒー豆の基礎知識、ド



リップ抽出などを学び、全員が順番で何度もコーヒーを入れる実践をしました。皆さん真剣な面持ちでお湯の温度を測り、ドリップにお湯をそそぐタイミングなど、美味しいコーヒーの入れ方のコツを覚えめました。

最後の回は、いろいろなコーヒー豆を挽いてそれぞれテイastingし、オリジナルブレンドを作ることにもチャレンジ。里館さんのアドバイスにより、ベースとなる豆には「安心感」を、ブレンドする豆は「リッチ感」を選び、とてもおいしいブレンドが出来上がりました。

●●● ICTを使って豊かな生活を ●●●

今回はパソコンではなく、タブレットを使って様々な活用を学び、楽しむことをアドバイスするICT

「活用インストラクターを目指す。講師は、ホームページ作成やオーディオシステムの開発をしている株



式会社サルプランコ代表の石澤圭太さん。

まずは、タブレットの基本操作を学び、それぞれのアカウントでメール交換にチャレンジ。初めはぎこちなかった操作も、ちょっとでも使えてくると、どんなのめり込んでいき、休憩も取らずにタブレットと格闘。アプリや検索サイトをを使って、観光地や交通手段などを検索しながら旅行の計画を立てることや、タブレットで写真を撮って、いろいろに加工する技などを学びました。

最終回には、「タブレットはスマートフォンと同じなんだ。これまで敬遠してきたけど、今度は買おうかな」という声も。

ガンバルーン体操 指導士養成講座

この体操は、空気を減らしたガンバルーン(ボール)を使って、筋力が弱くなった高齢者でもできる体操で、椅子に座った状態で行います。運動が嫌いな方でも、体力や運動機能の低い方でも、皆さんと一緒に楽しく体を動かすことができるため、無理せず運動習慣をつけるのにもってこいの体操です。

今回は、ガンバルーン体操指導士の資格を取得するため、二日間、十二時間の講習を受けました。

講師は、この体操を普及している広島県のNPO法人コーチズ代表の児玉宏さんです。

まずは、基本動作である「基礎ファイブ」のレクチャー。肩回りの捻り体操、胴体のギリギリ捻り体操、太もも裏のビンビン伸ばし体操・筋肉もりもり体操、足裏のどっ



しり安定体操の五つです。その後、インストラクターとして必要な知識を学び、ロールプレイしながらインストラクションのコツを習得。二日目は、実践するための「十分の体操プログラム」を作成し、わかりやすく、ユーモアあるインストラクションに挑みました。

「ハードな動きじゃないし、ぶよぶよしたボールが何とも心地いい。失敗しても皆で笑ってやり過ぎせるし、すごく楽しかった」という声も聞かれ、全部受講した人は無事、指導士となりました。

シニアの居場所を訪問

P.O法人シニアのための市民ネットワーク ワーク仙台の一番町サロン、そして木町通にあるNPO法人シニアサロン 井戸端会議を訪問。それぞれ民間で開設している居場所である利点と課題の話聞き、登米市での可能性をいろいろ考えました。

夕方五時を回るとシニアサロン井戸端会議の居酒屋が開店したので、お酒を頂きながら、初めての懇親会となりました。



ここまで学んで、あとは実践あるのみですが、その前に、既に活動しているシニアの居場所を見学してみよう

と、NPO訪問バスツアーを実施。登米を朝八時半に出発して、塩釜市にあるNPO法人高齢者サポーターチームしおたがを訪問し、午後

は仙台市青葉区一番町にあるN

アカデミーは、これからグループ化するための運営について学ぶほか、「介護(認知症)予防知識習得講座」もあります。

これまで学んできたことを確かに地域に還元する目標を定め、三月にはチャレンジする予定です。

NPO法人とめ市民活動フォーラム

- E-mail : info@tome-forum.jp
- URL : <http://www.tome-forum.jp/>

設立35周年を迎えたあかねグループ

学習と実践を両輪に



あかねグループのマスコットキャラクター
「あかねちゃん」

仙台市若林区で「誰もがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていける街づくり」をめざし、支え合いの活動をしている認定NPO法人あかねグループが、この二月で三十五周年を迎えます。仙台では市民活動の老舗的位置づけで、現在も女性が中心の多くのスタッフと共に、配食サービスや訪問介護サービス、ファミリーサポート事業、サロン活動などを展開しています。

あかねグループの夜明け (あかね誌三十五周年記念号から)

三十五周年を祝う記念講演会に合わせ、あかね誌三十五周年記念号が発行されました。そこに掲載されているあかねの五人の歴代代表が寄稿した「あかね三十五周年に寄せて」には、これまでのあゆみを振り返った文章が綴られています。

「嫁でもなく、妻でもなく、母でもなく、一人の女性として生き生き輝きながら社会参加しませんか」と呼びかけたチラシに応じて発足に加わったという三代目代表の藤田佐和子さん。「小さい子どもがい었지만、矢も楯もたまらず飛び込みました。そこで出会っ

たのは、何かしたい！自分の能力や技に磨きをかけ活かしたい！と目をキラキラさせている女性たちでした。」と当時を振り返っています。

この呼びかけ人が、初代代表の福永隆子さんです。福永さんは、長く神戸生協で働いていましたが、子育てが終わって五十代後半になったとき、高齢になった母親の暮らしを支えようと、故郷である仙台に戻ってきました。仕事を探しましたが、なかなか見つからなかったことから、自ら立ち上げよう！と、地域の女性にチラシで呼びかけたのです。この時集まったのが、福永さん、藤田さんを含



この場所から活動が始まりました

め、十人の門出。名前は、「夜明けから明るくなる東の空の色」よせて、あかねグループ」としました。一九八二年二月三日、ここから築七十年という古民家を拠点に活動が始まりました。

福永さんは、「体の不自由になつたお年寄りの手助け、幼児を持つ若い母親へのヘルプ、純正食品の仕入れと、活動の幅は広がる。ヘルプは一回五百円とした。あかねはお金を取る」と、まわりのグループから叩かれたが、仲間は増え続けた。時代が待っていた仕事だったのだから」と振り返り、今でこそ増えている「有償ボランティア」の仕組を始めたのです。

地域の福祉拠点

嫁が年老いた親の介護をするところが仕事という考えが多かった時代に、地域全体で高齢者を支えるという社会を目指した活動は、設立から二年後、老人給食配食サービスを開始します。月二回、十八食からのスタートでした。その十年後には、拠点のあかねセンターを南小泉に移し、その秋から仙台市からの助成金で仙台市配食サービスモデル事業を開始。回数も週二回、年間一、六二九食に増えま

した。そして二〇〇〇年には、活動拠点を現在の遠見塚に移し、二年後には指定訪問介護サービス事業、その翌年、配食事業は仙台市からの委託事業として毎日型の配食サービスを始めています。

その後は、二〇〇五年に指定居宅介護支援事業を開所、二〇〇六年には移動サービス運送を開始、二〇〇九年に高齢者ふれあいサロン開設、と次々に展開し、まさに「地域でひとりの人をトータルに支える福祉NPOのサービス提供拠点」となっています。それは発足時の予算額が一、七〇〇円に比べ、三十四年目の二〇一五年度が八、九三二万円と大きく増加していることを見ても事業規模が大きくなったことが分かります。

あかね学校

「赤ちゃんから高齢者まで、共に支え合いながら安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動するあかねグループは、同時に、だれでもが参加しやすいボランティア活動の場であり、生涯学習の場であるといえます。「出会い」「ふれあい」「学び合い」を合言葉に、会員は、一人ひとりの個性を磨きながら、仲間づくりと、社会参加

をしています。

学びの機会として、設立した年に第一回みやぎ女性の自立と老いを考えるシンポジウムをはじめ、講演会やシンポジウムを多数開催しているほか、「思秋期よさようなら」「なんとかしなくちゃ」「素顔の主演女優たち」等、出版物も多い。いずれも会員である仲間たちとの共作であり、活動を通して一緒に学んできた足跡でもあります。

その証として、これまでの三十五年間に、一九八四年には女性の活躍に贈られるエイボン女性サポート賞を受賞したほか、ふるさとづくり賞内閣官房長官賞、地域づくり総務大臣賞など、たくさん賞を受けています。

老人介護の社会化

「高齢者になっても住み慣れた我が家で生涯暮らし続けられる福祉のまちづくり」を目指して始まったこの活動ですが、この三十五年間に高齢者ケアの環境は大きく揺れています。

二〇〇〇年四月からスタートした介護保険制度は、介護を必要とする状態になっても安心して生活が送れるよう、介護を社会全体で支えることを目的に始まったもの

で、初めて福祉が営利企業にも事業実施者として開かれ、社会福祉法人やNPO法人、そして多くの企業も参入しています。このこと家庭で、特に嫁である女性に委ねられていた高齢者の介護が制度によってその役割を事業者が担い社会化されていきました。

あかねグループも事業者として地域の福祉を担い、「見る側も看られる側も、ともに人間らしく！」を合言葉に進めてきました。二〇一七年度には、要支援者へのサービスの一部や介護予防事業が各自治体に委ねられていきました。その環境によっては、体制が取れない地域では、各家庭が看ることになるか、地域の女性やシニアの総動員により担うことになりそうです。それも介護保険事業で

の対価とは違い、限りなくボランティア性を求められていくでしょう。少子高齢化による労働力不足の時代に入るこれから、女性の労働力への期待と、一方で、地域のボランティア活動への参加が期待される訳です。

あかねグループ現理事長の清水福子さんは、三十五周年記念講演会のあいさつで「今までの貴重な体験と多くの利用者様との出会いを大切に、これからもあかねらしい活動が続けられるように、経験を生かし、学び合い、地域の皆様と会員の支え合う市民活動を継続していきます。支えられる側も支える側も共に元氣な街を目指していきます」と話しました。これから期待される活動の一つのモデルとなっていくことと期待しています。



▲現理事長 清水さん



▶現在のあかねグループ事務所

認定NPO法人あかねグループ
 〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35
 ●TEL: 022-285-0945
 ●FAX: 022-282-4788
 ●E-mail: npoakane@violin.ocn.ne.jp
 ●URL: https://npo-akane-group.jimdo.com/

「ひとりじゃない」を感じられる場所



高橋 実希

杜の伝言板ゆるるインターン
東北大学 2年

NPO法人子どもグリーンフサポートステーション

NPO法人子どもグリーンフサポートステーション(以下、グリサポ)は、震災や自死、事故、病気などで、親や兄弟、友人など大切な人を亡くした子どもたちへのグリーンフサポートを行っている団体です。グリーンフとは、喪失体験に伴う愛惜や悲しみなど様々な感情のことを指します。

あそびは言葉

グリサポでは、仙台と陸前高田で月に二回ずつグリーンフプログラムを開催しており、両市を合わせて毎月約二十五名から三十名の子どもたちが参加しています。釜石市や宮古市、盛岡市などで開催することもあります。このプログラムでは、子どもたちが自分の気持ちに丁寧に触れられるようになることを目標に、一緒に遊んだりおしゃべりしたりしながら自由に過ごします。また、同時に保護者同士が交流する場も設けられています。



▲アートプログラムの様子

め、自分の気持ちを言葉で伝えられないことがあります。その時は、あそびやクラフトワークなどを動かすことを通して自分の感情を表現します。子どもの場合、あそびは「言葉」と同じなのです。また、年齢の近い人と話す方がより気持ちを共感し合えるというのも理由の一つです。

グリーンフプログラムは、震災前からグリーンフケアの活動をしている現NPO法人仙台グリーンフケア研究会が開催するプログラムですが、震災後に参加者が多くなり、単独での継続開催が難しくなりました。現在のグリサポが設立されました。グリーンフサポートステーションという名前は、子どもたちがいつでも何度でも行き来できる駅(ステーション)のような場所にしたという想いから付けられました。その名前の通り、九割以上

の子どもたちが二回目以降も訪れるといます。

三つの部屋

グリサポの活動拠点である「あしなが育英会仙台レインボーハウス」には、子どものグリーンフサポートのために考えられた三つの部屋があります。一つ目は、「おしゃべりの部屋」。この部屋は、プログラムの始まりと終わりの場であり、みんなで輪になっておしゃべりをします。おしゃべりのためだけの空間を設定することで、子どもたちが日常では話しにくいことも話せるようになります。

二つ目は、「火山の部屋」。この部屋では、子どもたちが大声を出したり、のびのびと体を動かすことができ、日頃溜まっているストレスなど高いエネルギーを発散できる場所です。三つ目は、「あそびの部屋」。子どもたちは、この部屋であそぶこと



▶のびのびと体を動かせる火山の部屋

を通して感情を表に出します。

グリサポを訪れる子どもたちの中には、将来に対して底知れぬ不安を抱えている子もいます。グリサポ事務局長の相澤治さんは、「ある子どもは、『将来は○○になりたい。でも死ぬかもしれないなあ』と言います。将来に希望が持てないと、勉強する意欲が湧かず不登校になったり、健康意識の低下から、夜更かしや食生活の乱れがみられます。しかし、悲しみや不安は無理に忘れようしたり、乗り越えようとする必要はありません。過去に寄り添って、自分の気持ちを丁寧に扱えるようになることが大切なのです。自分の体験について話すタイミングも人それぞれです。感情は自分の言葉で扱えるようになって初めて話すことができます。その時まで子どもたちを見守っていくのがグリサポの役割です」と話します。

●●● **思い出を振り返ること** ●●●

東日本震災からもうすぐ六年が経とうとしています。あの日まだ幼かった子どもたちは随分と大きくなりました。近頃は、震災当時やその前のことについて知りたいと言う子が増えたといえます。し

かし、保護者がま

だ話せるような心境ではなく、家庭内では聞きづらいという子もいます。グリサポ



▲父の日メッセージカード作り

では、そのような子どもたちと一緒に過去を振り返ることで、子どもたちが亡くなった大切な人とのつながりを再確認するための手助けをします。私たちは喪失体験をする、亡くなった時のことやその後のことばかり考えてしまいがちですが、生前の思い出を振り返ることは命への実感を高めるためにとっても大切なことなのです。

●●● **求められる支援の認知** ●●●

グリサポが現在抱えている課題は、グリサポを必要としている人々にその存在があまり広まっていないということです。そのため、今後は病院や葬儀関係者などを通じて当事者に伝えたり、教育機関でグリーフについての授業を行うこと等が必要になるでしょう。

また、別の課題として死別要因

による支援の格差があります。東北では震災遺児や震災孤児を対象とした寄付金やプログラムが多く集まります。しかし、事故や病気で自死などによって家族を亡くした子どもたちへの支援は未だ少ないのが現状です。震災は特殊なケースです。注目されるのはごく自然のこと。しかし、今後増加していくのは事故や病気で、自死で家族を亡くすケースです。震災に限らず、他の死別要因の子どもたちにも十分に支援の手が差し伸べられるようになることが求められています。

●●● **地域に強いネットワークを** ●●●

「自分も大事。相手も大事。」これは、相澤さんが活動するうえで大切にしている考え方です。頑張ることとは良いことです。無理をするの



▶仙台ワンデイプログラムの様子

は自分にとっても相手にとっても悪影響になりかねません。活動を継続して行うためにも「できないことは引き受けない」ことが重要だといえます。子どもたちにもつるすべての支援を無理に一つの団体で行おうとすると、広く浅くの支援となり、かえって効率が悪くなります。PTSDのようなケアは医療機関に、学習支援は教育機関にといったように専門の機関に繋げる、良い意味での「丸投げ」が必要なのです。このように、それぞれの専門性を持ったところで子どもたちの支援を行い、地域に強いネットワークをつくることは、支援の輪から外れる子どもをなくすことにも繋がります。

私たちが喪失体験をした子どもたちのためにできることは、まずは子どもたちの力を信じることで、手を貸し過ぎず、そばで見守り、時には辛抱強く待つことです。グリサポは常に子どもたちの視点に立ってグリーフサポートを行います。

NPO法人子どもグリーフサポートステーション
 〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-1-15
 仙台レインボーハウス 1階
 ●TEL : 022-796-2710
 ●FAX : 022-774-1612
 ●E-mail : info@cgss.jp
 ●URL : http://www.cgss.jp/

プラザの常設ショップ・ギャラリー&貸事務室を 活用して、新たな一歩を踏み出そう!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)には、NPOや市民活動団体に一定期間、活動の場所を提供してその団体を育てていくことと、常設ショップ・ギャラリーと事務室の貸しスペースがあります。今、ここを使って活動を発展させようとする使用団体を募集しています。どちらも書類審査と公開ヒアリングによる選考審査会を経て決まり、最長三年間使用することができます。

拠点を育て充実しよう

「常設ショップ・ギャラリー」は、フロアから天井までガラス張りになっていて、往来からもよく見える場所に二区画あります。この場



▶常設ショップ・ギャラリー一区画使用中のNPO法人イー・エルダー東北支部「Paso Cafe」

◀貸事務室には事務用机、椅子、キャビネットが備えられています



所をNPOが目的とする活動の環境で作成した品物の販売や、活動の普及のための窓口ワークショップなど、コミュニティ・ビジネスのチャレンジの実践の場として貸出しています。

また、これまでは、路上生活者の困りごと相談やフラワーアレンジの個別指導など、多様な活用方法がありました。

「貸事務室」は、団体の事務所として拠点を持つことで、団体の連絡先とし、書類の保管ができるほか、ちょっとした打合わせや事務作業ができ、安定した活動につながります。鍵付きで、事務所の広さも大・中・小とあり、使用料金がそれぞれ異なります。

なお、入居団体には、経営や組織運営に関する無料相談やプラザ

が開催するマネジメント講座などの参加費減免のほか、情報発信の支援を行っています。

期限が来るまでに、各NPOがプラザの機能を十分に活用して、組織力・運営力をつけて自立していくためのインキュベートの場でもあります。

審査の結果、入居が決定した団体は、四月から常設ショップ・ギャラリーや貸事務室の使用を開始できます。現在、ショップスペースには一団体、事務室には十団体が入居して活動しています。他の団体と交流を図ることで、新しいネットワークを築くことができます。多様な団体と情報交換することで、これまで単独の団体ではできなかった連携事業へと発展した団体もあります。

この機会に拠点を借りて、新しい事業を始めたい、もっと組織運営を充実させたい、と考えている団体は、この機会にご検討ください。私たちプラザスタッフも全力でサポートします!

常設ショップ・ギャラリー・事務室の使用団体募集は3月9日(木)が申込締切です。常設ショップ・ギャラリーと事務室の詳細については15ページ下部に掲載しています。また、募集要項や申込書はみやぎNPOプラザ窓口、もしくはみやぎNPO情報ネットからも入手できます。※見学も随時受付中です。

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

仲間の輪が広がる ボランティアコーディネート講座	2/22(水)	14:00~16:00
NPOのための会計・税務相談	2/24(金)	13:00~17:00
NPO法人のための決算書作成講座	3/10(金)	13:30~16:30
NPOのための総会運営講座	3/15(水)	14:00~15:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

第2回(平成29年度)赤い羽根福祉基金」助成

- 助成対象：全国的・広域的な広がり期待される活動で、公的
制度やサービスの狭間にある社会課題の解決の
ために取り組む活動。※第1回助成にあたっての
考え方、助成決定団体については、下記URL参照
- 対象団体：社会福祉・地域福祉の推進に寄与する団体(法人格の有無不問)
- 助成金額：年間上限額1,000万円(同一事業への助成実施
期間は単年度から最大3か年)
- 募集締切：2月13日(月)必着
※応募にあたっては、必ず「第1回助成にあつ
ての考え方、助成決定団体、助成決定事業名
称及び事業概要」をご確認ください。
- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会 赤い羽根福祉基金運営事務局
TEL：03-3581-3846
URL：<http://www.akaihane.or.jp/hukushikin/>

平成29年度みちのく国づくり支援事業

- 助成対象：①災害の防止を目的とする事業
②地球環境の保全・自然環境の保護及び整備を目的とする事業
③国土の利用、整備又は保全を目的とする事業
- 対象団体：東北地方に所在地を置き、社会資本整備に関する
事業を実施している公的機関、関係団体、関係法人等
- 助成金額：共催・実行委員会の場合、事業内容を考慮し共催団体(も
しくは実行委員会)等と調整のうえ支援額を決定。後援・
協賛の場合、総事業費の1/2以下(上限額50万円)。
- 募集締切：2月15日(水)必着
- 連絡先：一般社団法人東北地域づくり協会 地域事業部
TEL：022-268-4711
URL：[http://www.tohokuck.jp/contents/
public/bosyu.html](http://www.tohokuck.jp/contents/public/bosyu.html)

東日本大震災 現地NPO応援基金 JTNPO応援プロジェクト第2期 第2回

- 助成対象：「ひとり一人の想いを育むコミュニティづくり支援」
で、下記いずれかに該当するもの。
(1)自らの力でコミュニティづくりに取り組む住
民を応援する事業
(2)生活の課題を自らの力で解決することが困難
な住民を支援する事業
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに常設の活動拠点があり、
被災した地域や人々を対象に日常的な活動を行い、その実績
2年以上ある民間の非営利組織。(法人格の有無・種類不問)
- 助成金額：1件あたり150万円以上500万円以下
- 募集締切：2月28日(火)当日必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター
「東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト」事務局(担当:中川)
TEL：03-3510-0855
URL：<http://www.jnpoc.ne.jp/?p=12524>

第18回 社会貢献基金助成

- 助成対象：研究助成事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事
業、児童福祉事業、環境・文化財保全事業、国
際協力・交流事業(詳細は下記URL参照)
- 対象団体：非営利組織(財団法人・社団法人・社会福祉法人・NPO法人・そ

の他任意団体、市民ボランティアグループ又は大学、研究機関で、
今回募集する助成事業に合致する事業を行おうとする団体等。

- 助成金額：1件あたり上限200万円(ただし、研究助成事業
は1件あたり上限100万円)。
- 募集締切：2月末日 必着
- 連絡先：一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団
社会貢献基金助成 運営事務局
TEL：03-3596-0061
URL：<https://www.zengokyo.or.jp/>

2017年度 CO・OP共済 地域ささえあい助成

- 助成対象：生活協同組合とNPO・ボランティア団体等が協
同した取り組みで下記テーマにあてはまる活動
①くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する活動
②命を守り、その人らしい生き方ができるようにする活動
③女性と子どもが生き生きする活動
- 対象団体：生活協同組合、NPO法人、任意団体、市民団体
(今後設立予定の団体も可)
- 助成金額：1事業あたり上限100万円
- 応募締切：3月5日(日)当日消印有効
- 連絡先：日本コープ共済生活協同組合連合会
渉外・広報部 地域ささえあい助成事務局
TEL：03-6836-1320
(平日10:00～17:00 土日祝日除く)
URL：[http://coopkyosai.coop/about/csr/
socialwelfare/2017.html](http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2017.html)

海と日本PROJECT サポートプログラム

- 助成対象：海との多様なつながりを生かしながら独自性のある
取り組みを実施し、次世代を担う子どもや
若者を中心として多様な人が海への好奇心を持
ち、行動を起こす機会をつくるもの。
- 対象団体：本制度の主旨に沿った取り組みを行う実行委員会及び
財団法人、社団法人、NPO法人等の法人格を有する団体、
各種組合等の業界団体、ボランティア団体等。
- 助成金額：上限金額なし、事業費総額の80%以内を補助
- 募集締切：インターネット申請3月10日(金)17:00まで
※3月9日(木)23:59までCANPAN団体登録をしてください。
※申請期間は、3月1日(水)11:00～3月10日(金)17:00
- 連絡先：海と日本PROJECT サポートプログラム事務センター
TEL：03-6435-5752(平日9:00～17:00)
URL：[http://www.nippon-foundation.or.jp/what/
grant_application/programs/marine_day/](http://www.nippon-foundation.or.jp/what/grant_application/programs/marine_day/)

地域活動団体への助成「生活学校助成」

- 助成対象：近所の一人暮らしのお年寄りや子どもたちの見守り、
ごみの収集や資源リサイクル活動など、身近な地域
や暮らしの問題に取り組む地域活動団体。
※生活学校については、下記URL参照
- 対象団体：①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体
②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある団体
- 助成金額：6万円(初年度3万円、2年目3万円)
- 募集締切：3月31日(金)必着
- 連絡先：公益財団法人あしたの日本を創る協会 生活学校担当
E-mail：ashita@ashita.or.jp
URL：<http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>

3/4

DVに悩む女性のためのパープルカフェ

DVに悩む女性たちが、自分らしく生きることをめざす語り合いの場です。気持ちをわかち合い、語り合うことをとおして、安心感や人との信頼、つながりを取り戻してみませんか？

- 日 時：3月4日(土) 10:30～12:00
- 場 所：エル・ソーラ仙台(仙台市青葉区中央1-3-1)
- 対 象：DV経験のある女性の方
- 定 員：10名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 託 児：託児対象は原則として、6カ月以上小1まで。上のお子さんやしょうがいのあるお子さんについてもご相談ください。
※託児利用料：300円(お子さん1人1回につき)
※託児締切：2月23日(木) 先着順
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：エル・ソーラ仙台 相談支援係
TEL：022-268-8302
※月・水～土曜日9:00～17:00/火曜日9:00～21:00(祝日、休館日を除く)
URL：http://www.sendai-l.jp/

3/8

移動なんでもよろず相談所～第2弾～

よろず相談では、皆さんの日頃の悩みをお聞きしながら、一緒に解決策を考えていきます。家族、進路、仕事への悩み、人間関係や恋愛の悩み…なんでもご相談ください！まずは一緒に話してみませんか？

- 日 時：すべて13:30～16:00
①3月8日(水) ②3月21日(火)
- 場 所：①いしのま★キッチン(石巻市役所1階)
②百俵館(石巻市小船越)
- 対 象：年齢問わず、どなたでも
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込不要
- 主 催：認定NPO法人Switch
ユースサポートカレッジ石巻NOTE
- 連 絡 先：担当：高橋、小野寺
TEL：0225-25-5374
URL：https://switch-sendai.org/

3/11

震災から6年「人間の復興」は進んでいるか？ ～「復興」を考える2日間～

震災から6年、被災地の女性たちは、いま何を考え、どんな活動をしているのか、生きる力と営みを取り戻す「人間の復興」のこれからを見ずえて、女性たちの6年間の到達点と課題を、東北3県の女性たちとともに3つのシンポジウムを通して全国に向けて発信します。

- 日 時 等：シンポジウムⅠ 3月11日(土)13:30～16:00
宮城・岩手・福島にみる復興の「今」
シンポジウムⅡ 3月12日(日)10:30～12:30
女性防災リーダーの活躍にみる可能性と課題
シンポジウムⅢ 3月12日(日)13:30～16:00
「女性たちが動く」～執筆者たちの6年後～
- 場 所：国際センター駅市民交流施設「青葉の風テラス」(仙台市営地下鉄東西線国際センター駅)
- 定 員：各シンポジウム70名
※先着順、定員になり次第締切
- 参 加 費：各シンポジウム500円
- 申込方法：下記連絡先にE-mail・FAXで申込み。
申込み時、氏名、連絡先、参加希望シンポジウム名をお知らせください。
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台
みやぎの女性支援を記録する会
- 連 絡 先：NPO法人イコールネット仙台
TEL：090-1398-5065(佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

3/12

民話ゆうわ座-話に遊び 輪を結び 座に集う- 第4回いまここにも開いている民話の入口 「食わず女房」を考える

「民話ゆうわ座」では、誰もが知っている日本の民話を題材に「みやぎ民話の会」が45年にわたって記録してきた、民話語りの映像や音声を見たり聞いたりします。聞きくらべて感じたみなさんの思いや考えを自由に語り合う場です。

- 日 時：3月12日(日) 13:30～16:30
- 場 所：せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込不要(直接会場へお越しください)
- 主 催：みやぎ民話の会「民話 声の図書館」プロジェクトチーム、せんだいメディアテーク
- 連 絡 先：みやぎ民話の会(担当：小田嶋)
E-mail：saras919@soleil.ocn.ne.jp

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-NPO.gr.jpまで

- 対象：年齢や性別、障がいの有無を問わずご参加いただけます。
- 参加費：一般500円、高校生以下・障がい者300円
ファミリー割800円
※世帯を同じくする方何人でも
未就学児・ガイドヘルパー無料
- 持ち物：動きやすい格好で、飲み物、タオルなどご持参ください。
- 申込方法：初めてのご参加の方は下記までご連絡ください。
- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904
E-mail：sunp.yoyakumail@gmail.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

2/18 NPOに参加するきっかけに！市民活動カフェ

「プライベートの時間を活用して社会のために何かしてみたい」「セカンドライフは社会貢献活動に邁進したい！」市民活動カフェは、そんなあなたに来てほしい場所です。私たちのまわりには、困りごとを解決しようと日々奮闘しているNPOが数多くあります。団体に共感し、活動を始めたという人もいます。一歩踏みだす“きっかけ”を一緒に見つけましょう！

- 日時：2月18日(土) 13:30～15:45
- 場所：みやぎNPOプラザ 交流サロン
- ゲスト：小椋 巨氏(CILたすけっと事務局スタッフ)
石原 輝氏(NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ理事長)
清水 福子氏(認定NPO法人あかねグループ理事長)
- 内容：・NPOとボランティアのいろは
・ボランティアとともに活動するNPOの実践者の話を聞こう！
・ゲストに気になることを聞いてみよう！
※終了後、交流会(自由参加)
- 対象：NPO・市民活動、ボランティアに興味のある方
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：500円(税込) ※茶菓子付き
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、FAX・郵送・E-mailにてお申込みください。
申込書は下記URLリンク先からダウンロードできます。TELでの申込みもできます。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyounpocafe_20170218.html

2/25 国分町駆け込み寺 出張相談会in石巻市

国分町駆け込み寺は、暮らしの中の悩みごとやトラブルの解決支援団体です。家庭での困りごと、職場・学校での困りごと、誰にも言えない悩みなど、その問題の解決・改善、心の痛み軽減のため、できる限りサポートします。

- 日時：2月25日(土) 12:00～17:00
- 場所：石巻市NPO支援オフィス 小会議スペース
(石巻市泉町3-1-63)
- 定員：4名
- 相談費：無料
- 相談員：中島 一茂氏(国分町駆け込み寺 支部長)

- 申込方法：下記連絡先まで、事前申込み
※予約なしでもご利用できますが、別の面談中である場合、終了までお待ちいただきます。
- 主催：国分町駆け込み寺
(公益社団法人日本駆け込み寺 仙台支部)
- 連絡先：TEL：022-395-7740 FAX：022-395-7742
E-mail：kokubuncho@nippon-kakekomidera.jp
URL：http://www.kokubunchokakekomidera.com/

2/26 MIA日本語ボランティアセミナー 参加者募集!

このセミナーは、外国人を対象とした日本語学習支援のあり方について考えること、また、参加者同士の意見交換・情報交換を通して相互の連携を図ることにより、支援活動をより良いものとしていただくことを目的として開催するものです。現在活動中の方、ご関心のある方、是非ご参加ください。

- 日時：2月26日(日) 13:00～16:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内容：①講義とワークショップ
「地域日本語教室でのより良い支援のためのヒント～心理学からのアプローチ～」
講師：一條 玲香氏
(東北大学大学院文学研究科・臨床心理士)
②懇談会
- 対象：外国人の日本語学習支援の活動をしている方、または関心のある方。
- 定員：60名(要申込)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
申込み時、お名前、お住まいの市区町村、TEL、E-mail、所属団体がある場合には団体名をお知らせください。
- 主催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
- 連絡先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp/

2/26 「S-1グランプリ 第4回 いがす大賞」

「いがす」とは、「いいね!」「了解しました」などの意味を持つ宮城の方言です。各地の元気な取り組みを発表し交流することで、素敵な地域活動が各地に広まることを願い、S-1グランプリを開催します。大会当日、審査のうえ「いがす大賞」を決定します。

- 日時：2月26日(日) 13:00～17:30
- 場所：せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 定員：200名
- 参加費：出場者および一般観覧、ともに無料
- 申込方法：事前申込み不要、直接会場までお越しください。
- 主催：「S-1グランプリ 第4回 いがす大賞」実行委員会
- 連絡先：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
(担当：清野・田中・小野寺)
〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737
URL：http://www.clc-japan.com/

- ゲスト：白鳥 颯也氏(mon-stella (モンステラ))
菅原 香氏(大人のための絵本のみみきかせやさん)
三船 博庸氏(ベガルタ仙台・市民後援会事務局長)
- 内容：様々なお話から、まちへのかかわり方や、まちを面白くするアイデアをモクモクとふくらませます。
- 定員：20名(要申込み)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailにてお申込みください。
※E-mailでの申込みの際は、件名を「ハジフク」とし、氏名、住所、TEL、E-mailを明記。
仙台市市民活動サポートセンター窓口でも受け付けています。
- 主催：仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)
- 連絡先：TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp
URL：http://sapo-sen.jp

- 日時・場所：時間すべて10:00～15:00
【岩沼】2月15日(水)、3月15日(水)
岩沼市総合福祉センターiあいプラザ
(岩沼市里の杜3-4-15)
【名取】2月19日(日)、3月19日(日)
名取市市民活動支援センター
(名取市大手町5-6-1)
【塩竈】2月26日(日)、3月26日(日)
塩竈市公民館本町分室(塩竈市本町8-1)
【仙台】3月4日(土)
仙台市福祉プラザ(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 参加費：無料(要予約)
- 電話相談：電話での傾聴も実施しています。
毎週火・木・土曜日 9:00～17:00
専用電話：080-3199-4481
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

2/12 大切な人を亡くした方のわかちあいの会 …大切な人を亡くしたとき…

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆石巻会場：2月12日(日)、3月12日(日)
各日14:00～16:30【毎月第2日曜日】
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
◆仙台会場：2月18日(土)
各日14:00～16:30【毎月第3土曜日】
場所：あしなが育英会 仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
◆気仙沼会場：2月25日(土)
各日13:30～16:00【偶数月第4土曜日】
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
(気仙沼市東新城2-2-1)
- 対象：大切な方をなくされた方、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費：無料
- 申込方法：事前の申込みは必須ではありませんが、準備の都合上、ご連絡頂けると助かります。下記連絡先にTEL・E-mailでお申込みください。
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内事務ブース
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

2/15 あなたの心に寄りそう傾聴サロン 2月～3月

誰かとゆっくり話がしたい、悩みを聞いてほしい、自分のことをわかって欲しい等、あなたの不安や悩み、誰にも言えない心の内を話しに来ませんか。誰かに話す(放す)ことで、心の重荷が軽くなり、気持ちの整理もできると言われています。当会のカウンセラーが対応します。個別で対応しますので、被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務遵守、プライバシーは守ります)

2/18 障害年金についての基礎知識 ～用語の解説から申請方法までを学ぶ～

私たち親はわが子との関係の中で、いろいろな本を読んで、専門家の話を聞いて発達障害への理解を広げてきました。今回は、障害年金について知りたいという声に応え、障害年金に実際に携わっている現場から講師をお招きして研修会を開催します。そもそも障害年金ってどういうもの？手続きは難しいの？初診日証明って？…障害年金について理解を深め、疑問を解決できればと思っています。

- 日時：2月18日(土) 13:30～15:00
- 場所：仙台市福祉プラザ 10階大広間(2)
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 講師：和泉 哲夫氏(仙台市保険高齢部保険年金課主査)
- 対象：発達障害のある子どもの保護者、教職員や施設の方、その他の人との違いに気づき自分の生き方を模索しているお子さんやその保護者など。
- 申込方法：下記E-mailまで申込み。問合せもE-mailでお寄せください。
- 主催：シエルの会
- 連絡先：事務局(担当：寺井)
〒980-0871 仙台市青葉区八幡4-10-1-202
E-mail：ciel.aspe@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/ciel/

2/18 すんぷちよのダンスワークショップ オドリノタネ

赤ちゃんを連れて、家族で、カップルで、障がいがあってもなくてもどなたでも参加できるダンス？ワークショップです。ダンスの後に？が付くのはきっとみんなが想像するダンスとちょっと違うから。最初はゲームみたいだったのにいつのまにかダンスになってる？あなたのオドリノタネが目覚めます！

- 日時・場所：各日共通 土曜日 10:30～12:00
2月18日 宮城野コミュニティセンター大広間
2月25日 せんだい演劇工房10-BOX box3
3月11日 せんだい演劇工房10-BOX box3
3月18日 せんだい演劇工房10-BOX box5
3月25日 せんだい演劇工房10-BOX box5
- 内容：音楽によって、適度な運動でからだリフレッシュ！座ったままでも、それぞれのペースで大丈夫！

イベント

2/11 地域みんなにやさしい空間 ～「私」を尊重し合うには?～

東日本大震災から6年になるうとしています。災害公営住宅の建設がすすみ、新たなコミュニティができ始めています。初めは「みんな」が生き生き暮らせる場所をつくらうと考えていても、話し合いの中で、どうしても声の大きい人や、多数派の意見が通ってしまうことってありませんか? 本当に「みんなに優しい空間」をつくるためには、どうしたらいいか、実践している団体からお話を聞き、一緒に考えてみましょう。

- 日 時：2月11日(土・祝) 13:30～16:30
- 場 所：仙台市日立システムズホール仙台 研修室2
(青年文化センター：仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 内 容：1.「みんなにやさしい空間」事例発表
2. みんなで考え合う「みんなにやさしい空間」とは?
3. まとめ

●活動紹介：会場にてみやぎのちと人権リソースセンター活動紹介展示も行います。参加される方で、ご自分たちの活動を紹介したい方は、パンフレットなど50部ほどお持ちください。

●申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailで申込み。申込み時、氏名、連絡先をお知らせください。

●申込締切：2月9日(木)
※定員に余裕がある場合は当日も受付

- 主 催：みやぎのちと人権リソースセンター
- 連 絡 先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
FAX：022-279-7210(チャイルドラインみやぎ)
E-mail：c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp

2/12 ハジマルプログラムプロジェクト ～“わたくしごと”に潜む、社会を動かすチカラ～

「絵本が好き」「音楽が好き」「サッカーが好き」と、活動を始めた3人のゲストをお招きします。自分を起点に「個」を開き「公共」へ多彩なインパクトをもたらしている事例から、“わたくしごと”と地域のつながりを考えます。

- 日 時：2月12日(日) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県のNPO法人数

808 団体

●宮城県等所轄：393団体 ●仙台市所轄：415団体
※2017年1月10日現在

NPO法人に認証された団体				仙台市所轄分 2016年12月11日～2017年1月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
ラソスポルチクルービ	青葉区	高齢者健康促進事業スポーツを通じた社会教育事業、スポーツを通じた地域交流事業、スポーツ活動普及事業スポーツ活動育成・強化事業 他	12/14	仙台市
つながりデザインセンター	太白区	コミュニティ形成支援事業、まちづくりコーディネート事業、住生活支援事業 他	12/19	仙台市

宮城県等所轄において2016年12月11日～2017年1月10日までにNPO法人に認証された団体はありません

※宿泊研修(2泊3日)費用の一部 18,000円は別途負担

※面接合格後の研修日程・内容などの詳細については、下記連絡先のURLから確認。

●申込方法：必要書類 ①申込書、②「いのちの電話」に参加する動機(A4版横書き800字程度)、③自分史(A4版横書き1200字以上)

※自分史は、自分の人格形成に影響を及ぼした出来事や人物を中心に、嬉しかったこと、悲しかったことなど、自己形成の歴史を綴ってください。

履歴書のように項目を羅列する記述は不可。
下記URLリンク先からも直接申込み可能
<http://sendai-inochi.jp.org/volunteer.html>

- 申込締切：2月28日(火)
- 主 催：社会福祉法人仙台的のちの電話
- 連 絡 先：〒981-8691 日本郵便(株)仙台北郵便局 私書箱26号
TEL：022-718-4401(事務局)
FAX：022-718-4431
URL：<http://sendai-inochi.jp.org/volunteer.html>

電話相談

婚外子差別にNo! 電話相談・2017

2013年12月に民法の婚外子相続差別規定が廃止されました。しかし、出生届や戸籍の続柄差別記載などの婚外子差別法制度は維持されています。子どもの人権尊重を当然とする社会と婚外子差別の撤廃の実現に向け、これからも頑張ります。わからないことや日々の思いなど、ぜひお気軽にお電話ください!

- 相談日時：いずれも木曜日 14:00～20:00
3/2、4/6、5/4、6/1、7/6、8/31、9/28、10/5、11/2、12/28
- 相談TEL：TEL：042-527-7870
- 相談料：TEL相談は無料です。
※通話料のみご負担ください。
- 主 催：なくそう戸籍と婚外子差別・交流会
- 連 絡 先：E-mail：kouryu2-kai@ac.auone-net.jp
TEL/FAX：0422-90-3698(留守電対応)

縦覧申

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分 2016年12月7日～2017年1月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
アンソレイユ	名取市	高齢者、生活保護者、知的障害者、精神障害者、子育て世帯等の社会的弱者に対して、日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業等を行うもの	12/7	宮城県等

【児童館職員】

- 必要資格：保育士、幼稚園・学校教諭、社会福祉士等
- 勤務地：仙台市新田児童館(宮城野区新田)
- 勤務日：月曜日～土曜日(内、週5日～6日)
※日曜祝日、年末年始休み
- 勤務時間：12:30～19:30(内、1日5時間)
- 時給：850円～

【事務局職員】

- 必要資格：自動車運転免許、PC操作
- 勤務地：せんだい杜の子ども劇場事務所(泉区泉中央)
- 勤務日：月曜日～金曜日(内、週5日程度)
※年に数回、土日祝日等イベント等で出勤有
- 勤務時間：10:00～18:00(内、1日4～5時間)
- 時給：800円～

【共通事項】

- 申込方法：下記連絡先に問合せのうえ、申込み。
- 募集主体：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：担当：吉澤
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

事業案内

みやぎNPOプラザ短期ショップ 「アマニ・ヤ・アフリカ」

アフリカ・ケニアのフェアトレード商品(アクセサリ・雑貨等)の販売と大人気のタンザニアのオーガニックインスタントコーヒー&チャイも販売します。

- 開催日時：2月10日(金)～2月22日(水) 11:30～16:30
※月曜日はお休み
- 場所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連絡先：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-34
コーポすず205
TEL/FAX：022-797-7556
URL：http://amani-ya.com/

6月4日開催!

第17回 とっておきの音楽祭2017出演者募集

2001年に仙台で始まった「とっておきの音楽祭」は、今年17回目を迎えます。音楽祭は、障がいのある人もない人も一緒

に音楽を楽しみ、音楽のチカラで、「心のバリアフリー」を目指しています。とっておきの音楽祭には、社会を変えていくチカラがあると信じています。それは、皆さん一人ひとりのチカラです。今年も参加する皆さんと共に創っていきま。ご参加お待ちしております。

- 対象：グループでも、家族でも、ひとりでも、どんなジャンルでも音楽祭の趣旨に賛同いただける方。
- 参加費：お一人につき1,500円(未就学児は無料)
- その他：演奏場所は仙台市中心部の屋外ステージ。演奏時間は最大25分。
- 申込方法：申込用紙を下記URLからダウンロードし記載。パフォーマンス映像を撮影しディスクに記録した後、郵送にて申込み。
- 募集締切：2月17日(金)当日消印有効
- 主催：NPO法人とっておきの音楽祭
- 連絡先：とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
TEL：022-265-0980
E-mail：info@totteokino-ongakusai.jp
URL：http://totteokino-ongakusai.jp/

仙台いのちの電話

2017年度 第44期 相談員養成講座

「聴く」ことについて学び、あなたもボランティア相談員として活動してみませんか?相談員になるには、学歴や経歴は問いませんが、時には自殺の危機にある人たちと対話する重大な役割を持っているため、養成研修を経て、認定審査を受けていただきます。

- 面接日時：仙台：3月14日(火) 14:00～20:00
石巻：3月18日(土) 14:00～18:00
※面接合格者のみが、研修に進むことができます。
※面接はグループ面接・個人面接 併せて1人40分程度順次設定します。会場・面接時間は応募書類受理後、郵送でご連絡します。
- 応募資格：①22歳以上65歳位までの方で、心身共に健康で、「いのちの電話」の趣旨に賛同し、その活動に積極的に参加される方。
②相談員として認定後、月2回いのちの電話センター(仙台または石巻)で、ボランティアの電話相談員として活動できる方(深夜担当も含む)1回3時間。仙台いのちの電話は24時間体制です。
③認定後も継続して所定の研修[グループ研修(年10回)・一日研修及び一泊研修]を受けることができる方。
- 定員：30名(仙台20名、石巻10名)
- 研修費用：40,000円(4回分割納入可 2017年3月・7月・11月・2018年3月)

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2017.1.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 102名

寄付を頂いた方々

<仙台市> ●鈴木英孝 ●服部修

会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口 3,000円
賛助会員NPO	一口 5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

1月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

「こどもがつくるまち」をサポートしてくれる ボランティア大募集!!

私たち「Piccoliせんだい」は、小学生を対象に、子どもだけの仮想都市の中でまちづくり・職業体験をし、働く喜びやお金・物の大切さ、社会の仕組みを体験し学ぶ取り組みを、企画・運営・サポートしています。「働く・稼いだお金で生活する」といった疑似体験ができるイベント「Piccoliせんだい」の活動に参加しませんか？

- 活動日時：月に2、3回・不定期
(サポーターの都合に合わせて設定)
- 活動場所：大学の食堂、宮城野区文化センターなど、その日集まるサポーターの都合に合わせて決定
(Skypeなどで遠隔会議を行う場合も有)
- 活動内容：①Piccoliせんだい本番に向けた企画・運営
(主に大学生が担当)
②共催、協賛などの外部との連携作業。
(主に社会人が担当)
③こども会議のサポート、見守り。
- 対象：子ども対象のボランティアに興味がある方はだれでも！(年齢不問)
- その他：イベント開催日2018年2月10日(土)、11日(日)、12日(月・祝)の3日間
- 申込締切：2017年2月末日
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください。簡単な面談を行います。(E-mailは常時受付。TELの場合、8:00～22:00の間で対応)
- 募集主体：NPOピコせんサポーター事務局
- 連絡先：TEL：090-8617-0955
E-mail：piccolisendai@gmail.com
URL：http://picosenboshu.wixsite.com/mysite

2017 キッズベース花山ウィンターキャンプ ボランティア募集

歩くスキーを履いて野山を歩いたり、滑ったり、動植物など自然の様子を観察し、自然の中での遊び方を冬季キャンプで学びます。一緒に活動するボランティアを募集しています。

- 活動日時：2月18日(土) 8:00～2月19日(日) 18:30
- 活動場所：国立花山青少年自然の家とその周辺
- 活動内容：・ネイチャースキー(クロスカントリースキー)
・ナイトウォッチング(星座観察)
・スキー(そり・雪中活動)・雪遊び など
上記活動の際、子どもたちの安全管理、及び子どもたちの見守りをお願いしたいと思います。
- 対象：大学生(短大・専門可)、社会人、主婦の方、子どもと遊ぶのが好きな方
- 募集人員：10人程度
- 報酬：宿泊費無料(昼・夜・朝・昼の4食事込)
- 申込方法：下記連絡先にE-mail・TELで申込み。
- 募集主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：担当：加藤
〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバーズピアワッセ2階
TEL：022-346-0130(平日17:00～20:00)
E-mail：m-katou@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp

有給スタッフ募集

NPO法人せんだい杜の子ども劇場 児童館職員・事務局職員 募集

せんだい杜の子ども劇場は、すべての子どもが心豊かに育つ環境づくりを行っています。私たちと共に活動しませんか？

みやぎNPOプラザ 貸事務室・ショップスペース 使用団体募集

「みやぎNPOプラザ」でNPOの活動拠点となる貸事務室の使用団体を募集します。また、今回はNPOがコミュニティビジネスの実践の場として活用できる常設ショップ・ギャラリースペースも同時に募集します。

募集施設	募集数	面積	月額使用料(税込)	使用期間
①事務室(大)	1団体	約18㎡	18,500円	平成29年4月1日(土)～最長3年
②常設ショップ	1団体	約10㎡	10,200円	平成29年4月1日(土)～最長3年

※電話用モジュラージャックは上記料金内で使用可。
インターネット用モジュラージャックの使用については別途月額1,000円(税込)の使用料が必要です。

申込方法

募集要項・申込書はみやぎNPOプラザ、宮城県共同参画社会推進課などで配布します。
ウェブサイト「みやぎNPO情報ネット」(http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/bosyu/bosyu_2.html)からもダウンロードできます。

申込受付期間

2月1日(水)～3月9日(木)

～使用開始までのスケジュール～

3月9日(木) 募集(申込)締切
3月16日(木) 公開ヒアリング・選考
3月17日(金) 選考結果連絡
4月1日(土)より 使用開始

★見学随時★

見学を希望される方は、事前に下記連絡先へご連絡ください。





非営利法人制度のあり方を考えるフォーラムin宮城

—民間非営利セクターの発展に向けて—

非営利法人格選択に関する実態調査委員会は、日本の一般・公益法人制度とNPO法人制度の2つの非営利法人制度がどのように市民社会に選択され利用されているのか比較調査を進めてきました。この調査結果をもとに、より良い社会づくりに貢献する非営利法人制度はどのようにあるべきか、また非営利法人を支援するための環境整備について、課題を共有するフォーラムを宮城で開催します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

第1部 「非営利法人格選択に関する実態調査」の報告

中島 智人 さん(産業能率大学准教授)

第2部 パネルディスカッション「非営利法人格の選択とそれを取り巻く宮城の現状」

【パネリスト】

中川 政治 さん(公益社団法人みらいサポート石巻専務理事)

小松 直子 さん(宮城県環境生活部参事兼共同参画社会推進課長)

手塚 明美 さん(一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ代表理事)

大久保 朝江 さん(認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

【コメンテーター】山岡 義典 さん

(法政大学名誉教授、非営利法人格選択に関する実態調査委員会委員長)

【コーディネーター】新田 英理子 さん

(認定特定非営利活動法人日本NPOセンター事務局長)

日時 2017年2月27日(月) 13:30~17:00 (開場13:00)

会場 仙台市民活動サポートセンター6階 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

対象 このテーマにご関心のある方 どなたでも参加いただけます
(社団法人、財団法人、特定非営利活動法人(NPO法人)、
自治体職員、NPO支援センター、研究者、助成財団など)

定員 80名 参加費 無料

申込方法 FAX、郵便、もしくは氏名、所属先、連絡先を
記載したメールにてお申込みください。
電話でのお申込みも受け付けます。

お申込・お問合せ

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 下記連絡先をご覧ください。

主催:非営利法人格選択に関する実態調査委員会(構成:公益財団法人公益法人協会、認定NPO法人日本NPOセンター)
共催:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

※本フォーラムは、トヨタ財団イニシアティブプログラムにより実施します。

平成28年度仙台市
NPO法人組織基盤安定化事業

NPO法人運営力向上セミナー

—組織の基盤を整える7つのこと—

NPO法人の組織運営力の向上を目的とした様々なセミナーと専門家による相談会を開催します。
広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう!

● 2/15(水) めざせ!認定NPO法人セミナー

認定NPO法人制度の最大のメリットは、「寄附者に対する税制優遇」です。
認定を取得することで、寄附者に返返しができます!このセミナーでは、認定NPO
法人制度がどのようなものか、認定取得のための書類や手続き、P・S・Tの相対
値基準の計算の仕方についてなど、初心者にもわかりやすく解説します。

講師:大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

開催日時:2月15日(水) 14:00~16:00

● これからの個別相談会

【参加費/無料 申込締切/開催日の1週間前まで】

●NPO運営相談

NPOの組織運営全般、事業について、また、助成金申請についてなど様々な相談に応じます。

1月10日(火)~2月28日(火)の間で、希望日時を応相談

相談担当:大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事) 定員:3団体

会場:相談者と相談のうえ、決定

●会計税務個別相談会

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい専門家が、個別の相談に応じます。

3月9日(木)①13:00~14:00 ②14:10~15:10 ③15:15~16:15

相談担当:八島 徳子(公認会計士・税理士) 定員:3団体

会場:仙台市民活動サポートセンター研修室1(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

● 3/2(木) 雇用に関わるNPO労務の基礎

NPO法人が人を雇用する上で必要な書類や雇用環境(就業規則・給与規定など)
を整えるため、労働基準関係法令に基づいた諸手続きへの理解を深めましょう。
マイナンバーの取り扱い方法についても最新情報をお伝えします。

講師:若山 章一郎(特定社会保険労務士)

開催日時:3月2日(木) 13:30~15:30

【セミナー共通事項】定員:20団体 参加費:1人あたり800円(税込)

会場:仙台市青葉区中央市民センター 第2会議室(仙台市青葉区一番町2丁目1-4)

●労務個別相談会

雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直しなど、労務に関すること、
また「マイナンバー制度」についての相談にも応じます。

3月2日(木) 15:45~16:45

※同日開催する「雇用に関わるNPO労務の基礎」セミナー参加者優先

相談担当:若山 章一郎(特定社会保険労務士) 定員:1団体

会場:仙台市青葉区中央市民センター 第2会議室(仙台市青葉区一番町2丁目1-4)

申込方法/FAX、郵便、もしくは希望する講座・相談会、氏名、団体名、
連絡先を記載したメールにてお申込みください。電話でのお申込みも受け付けます。
※先着順で受け付けますので、申込状況によってはご希望に沿えない場合があります。
あらかじめご了承ください。

主催:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市

お申込・お問合せ 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 下記連絡先をご覧ください。